

理窓教育会報

第 52 号

平成 30 年 10 月 1 日

東京理科大学理窓教育会

事務局 PORTA 神楽坂 7 階

巻頭言 『 野 菜 づ く り と 人 づ く り 』

東京理科大学理窓会会長 増 淵 忠行 (43 理・物)

この 4 月、石神一郎会長からバトンを受け、支部総会などを通して教育界でご活躍の同窓教員の皆さんとお話する機会が増えました。物理学校創設以来の伝統を引き継がれ、熱心に理数教育に携わっている皆様に改めて敬意を表します。

つたない経験

私は 1968 年理学部物理学科を卒業し、講師として高校の教壇に立った経験があります。「長男だから卒業したら地元へ帰れ」と父から言われていましたが、「1 年間だけ、仕送りなし」の条件で東京での生活を続けました。たった 1 年でしたが、この経験から得たことは計り知れないものがあります。地元栃木県に戻り、民間会社で 40 年ほど「ものづくり現場」で新規事業の開発や立上げ、子会社経営などを経験しました。

私の父は 1941 年 (昭和 16 年) 3 月、物理学校を卒業し中島飛行機で働き、終戦後故郷の栃木県にもどり中学の教員になりました。父の元に地元で理科・数学の教員をしている物理学校・理科大卒の方が集まっては戦後大きく変わった教育について、「天と地が変わったような改革だが、現場で一緒に汗をかき、焦らず、厳しくも愛情持って頑張ろう」と語り合っていたことなどが耳に残っています。

野菜づくりと人づくり

私は現在栃木県北の片田舎で日々生活しています。先祖が残してくれた土地に住み、隣接の畑で野菜づくりを楽しんでいます。

野菜づくりで先ず大切なのは「土づくり」。野菜にあった土づくりがスタートです。そこに時期に合った種を撒き、適度な水を与えないと芽が出ません。適度な肥料も必要です。完全無農薬、有機肥料栽培をしていますが、連作障害には気を配っています。『まかぬ種』は生えないし、水は「足らなくてもやりすぎ」でもだめ。風通しを良くすることや草とりも欠かせません。人づくり (教育) と共通点がたくさんあると思っています。

つい先日、近くに住む幼稚園年長の孫が遊びに来て、我が家の畑でとれた野菜などでサンドイッチをつくってくれました。野菜サラダを「おいしくな一れ、おいしくな一れ」と「こねこね」し、パンにはさんでくれました。「声掛け」も必要だと孫に教えられました。

理窓会会長としてめざしていること

理窓会ルネサンスがスタートし 10 年が経過。PDCA サイクルを回しながら更なる発展を目指し、「変えてはいけないこと」、「変えた方がよさそうなこと」を整理しながら活動を開始しました。ある先輩から、改革するときは『最大公約数の考えで、最小公倍数の仕事をしよう』とのアドバイスを頂きました。物事を考える時、割り切れるかどうかが最初のポイントになりますね。日々教育現場でご活躍の理窓教育会の皆様におかれましては、国の教育方針、教育環境が激変する中でご苦労が絶えないと思いますが、益々のご尽力、ご活躍をご祈念申し上げます。

東京理科大学理窓教育会 平成 30 年度 総会

第1号議案 平成29年度 会務報告

1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成29年度は、「書面総会」の形式で実施した。各支部長に下記の事項の議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらった（アンケートの集約日は、平成29年6月末）。それを本部で集計し、会報第50号に詳細を掲載して、書面で承認をもらった。

- ① 平成28年度の会務報告及び会計報告。
- ② 平成29年度の活動計画及び予算案。

2. 組織の充実、強化に関して

① 各支部の活動状況（各支部からの報告事項から）

・北海道支部総会（9月9日）	・青森支部総会（7月8日）
・岩手支部総会（11月18日）	・秋田支部総会（10月21日）
・山形支部総会（10月28日）	・群馬支部総会（11月25日）
・埼玉支部総会（7月2日）	・東京支部総会（5月28日）
・千葉支部総会（8月20日）	・神奈川支部総会（7月22日）
・山梨支部総会（10月14日）	・静岡支部総会（1月20日）
・長野支部総会（10月16日）	・富山支部総会（8月26日）
・岡山支部総会（8月5日）	・佐賀支部総会（2月25日）

② 会報発行

第50号 平成29年10月1日発行

第51号 平成30年4月1日発行

③ 副会長・支部長に会の活動状況等を送付し組織の活性化を図った。（10月）

3. 大学との連携事業

① 大学「キャリア教育」事業への協力

「理学部第二部：キャリア発達セミナー」の計画に基づき、理窓教育会会員が講師として招聘された。

4. その他の活動（教育会主催）

① 新規採用教員予定者激励会（平成30年3月3日（土））

本学を卒業し全国の公私立学校に新規採用の予定者を招いて激励した。

② 編集委員会

平成29年7月 第50号の発行について

平成30年2月 第51号の発行について

③ 指導委員会

教育センターが実施する教員採用試験対策講座〔3年生対象（秋）合宿（3月）4年生対象（春）〕へ講師を紹介した。講義内容検討会（7月）を行った。私学教員採用対策講座（1月）

キャリアセンター（就職課）が実施する教職ガイダンス〔4年生対象（4月）3年生対象（11月）〕及び面接指導（2次試験対策）への講師を紹介した。

以上

第2号議案 平成29年度会計報告(案)

平成 29 年度 会計

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

[収入の部]

科 目	予 算	決 算	比較増減
前年度繰越金	98,531	98,531	0
納入会費	260,000	227,188	-32,812
理窓会正会員協力金	10,000	8,400	-1,600
雑収入・利息他	10	11,610	11,600
合 計	368,541	345,729	-22,812

[支出の部]

科 目	予 算	決 算	比較増減
交通費	60,000	58,500	1,500
慶弔費	10,000	0	10,000
会議費	2,000	0	2,000
支部長会積立金	0	0	0
事務費	7,000	5,250	1,750
会報2回の印刷費, 封筒代	135,000	136,404	-1,404
全国会員へ郵送費, 郵便代	105,000	101,095	3,905
ホームページ更新等	10,000	10,000	0
予備費	39,541	10,000	29,541
小 計	368,541	321,249	47,292
次年度繰越金		24,480	
合 計	368,541	345,729	

※ 納入会費 1,000円×242口ー口座徴収料金 12,440ー印字サービス代 2,102ー振込手数料 270 =227,188 円

[口座徴収料金内訳 130円×60通, 80円×58 通, 0円×18 通 (現金納入等)]

※ 収入の部「雑収入・利息」欄の11,610円はご寄付1,610円と東京支部会計から通信費補助10,000円

※ 予備費から支出10,000円は学生に原稿謝礼図書カード5名分

※ 地区別支部長会費会計より 80,000円 補填[会長交流費支部総会旅費, 祝金30,000円, 通信費補助50,000円]

※地区別支部長会費会計 平成29年度会計報告及び平成30年度予算(案)

平成29年度 会計

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

[収入の部]

科 目	予 算	決 算	比較増減
前年度繰越金	932,485	932,485	0
本年度会計より	0	0	0
受取利子	8	8	0
合 計	932,493	932,493	0

[支出の部]

科 目	予 算	決 算	比較増減
地区別支部長会費	250,000	0	250,000
予備費	682,493	0	682,493
小 計	932,493	0	932,493
次年度繰越金		932,493	
合 計	932,493	932,493	

第4号議案 平成30年度予算(案)

平成 30 年度 予算

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

[収入の部]

科 目	予 算
前年度繰越金	24,480
納入会費	250,000
理窓会正会員協力金	8,500
雑収入, 地区別支部長会計より	80,000
合 計	362,980

[支出の部]

科 目	予 算
交通費	53,000
慶弔費	10,000
会議費	2,000
支部長会積立金	0
事務費	5,000
会報印刷費等	137,000
全国会員へ郵送費, 郵便代	105,000
ホームページ更新等	10,000
会長交流費	30,000
予備費	10,980
合 計	362,980

※ 納入会費 1,000円×242口ー口座徴収料金 12,440ー印字サービス代 2,102ー振込手数料 270 =227,188 円

[口座徴収料金内訳 130円×60通, 80円×58 通, 0円×18 通 (現金納入等)]

※ 収入の部「雑収入・利息」欄の11,610円はご寄付1,610円と東京支部会計から通信費補助10,000円

※ 予備費から支出10,000円は学生に原稿謝礼図書カード5名分

※ 地区別支部長会費会計より 80,000円 補填[会長交流費支部総会旅費, 祝金30,000円, 通信費補助50,000円]

※地区別支部長会費会計 平成29年度会計報告及び平成30年度予算(案)

平成30年度 予算

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

[収入の部]

科 目	予 算
前年度繰越金	932,493
本年度会計より	0
受取利子	8
合 計	932,501

[支出の部]

科 目	予 算
地区別支部長会費	250,000
本年度会計へ	80,000
予備費	602,501
合 計	932,501

会 計: (各担当理事) 齋藤常男

澁谷重雄

小林 博

竹村精治

会 計 監 査

監査の結果, 正確・適正であることを認めます。

平成 30 年 5 月 11 日

監 査

田村 清志

第3号議案 平成30年度 活動計画（案）

1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成29年理窓教育会総会は、「書面総会」方式とする。昨年度と同様に各支部長に議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらう。それを本部で集計し、会報第53号に詳細を掲載して、書面で承認をしてもらうこととする。

2. 各支部総会

各支部で実施する。実施状況を、会報第53号に掲載する。

3. 地区別支部長会

地区別支部長会を実施する。開催を希望する地区の副会長は開催日、開催地等を本部に申し出る。

4. 会報発行

第52号、第53号を発行する。

5. 財政の健全化に向けて

財政の健全化を期して会費納入者の増加を図る。

会報発送宛先ラベルの右下部に会費納入最終年度の数字を記載し、会員の納入年度の確認に利用しできるようにした。各支部では、本部への年会費（1名あたり1000円）の納入の呼びかけを一層進める。

6. 会員の拡大

同窓の教員に会報を送付し、会の活動を紹介し、会員の拡大を図る。

7. 大学との協力促進

① 教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し、多くの後輩が教職に就けるよう協力する。

キャリアセンター（就職課）ガイダンス、面接指導への講師派遣、教育センター講座への講師派遣等の協力をする。

② 東京理科大学維持拡充資金（第二期）事業への協力。

ア. 趣旨に賛同し、その募金活動を継続推進する。

③ 大学の学生募集の協力。

ア. 学生募集広報に協力する。

イ. 第二部推薦入学の広報に協力をする。

④ 公立学校採用第二次選考試験及び私学採用試験対策講座等への面接指導講師派遣に協力。

⑤ ホームカミングデー運営への協力

⑥ 坊っちゃん科学賞の審査・発表会への協力

8. 新規採用教員予定者激励会

全国の公立、私立学校教員採用試験に合格した学生を招待し、激励会を開催する。

総会 総括

平成 30 年度理窓教育会総会は、昨年度と同様「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、議案に対するアンケート形式を採り、全国支部長の皆様の意向を集約させていただきました。

◎ 集約の結果

回答のあった支部数 19 (昨年度 17)

1 号議案 賛成 18 反対 0 白票 1

2 号議案 賛成 18 反対 0 白票 1

3 号議案 賛成 18 反対 0 白票 1

4 号議案 賛成 18 反対 0 白票 1

① 議案に反対する意見は 0 です。

② 以上、賛成、反対、白票および参考意見を吟味しまして、各議案のすべてをご承認いただいたことにさせていただきます。

以上、平成 30 年度総会は、各支部長等皆様のご協力により、無事終了させていただくことができました。皆様方のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

ご意見等のあった支部数 1

- ・ (大分) 教育会報を別に発行せず、理窓の中に教育会の記事を掲載すればよい。

※いただいたご意見等は 10 月 5 日の定例理事会で検討をする予定です。

『Society5.0 における教育』と 教育会の使命

理窓教育会会長 富岡 康夫(48 理・化)

内閣府は、今後の社会を①サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより②地域、年齢、性別、言語等による格差がなく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会的な課題の解決を両立し、③人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会を実

現するとして、総務省、経済産業省、文部省はじめ各省庁にアクションプランを指示しました。

文部科学省内で、省内タスクフォースを立ち上げて検討し、平成 30 年 6 月 5 日に

「Society5.0 に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」を発表しました。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くこれからの 5.0 の経済社会の政策を述べています。

教育では A I 先端技術が教育にもたらすものとして、学びの在り方の変革が起こります。スタディログ等の把握・分析による学習計画や学習コンテンツの提示ができ、その蓄積から精度の高い学習支援が可能になります。学校自体が一斉一律の授業の学校から、読解力などの基盤的な学力を確実に習得させつつ、個人の進捗や能力関心に応じた学びの場になります。同一学年集団の学習から加えて、学習到達度や学習課題に応じた異年齢・異学年集団での協働学習が拡大されます。教室での学習が大学、研究機関、企業、NPO、教育文化スポーツ施設等も活用した多様な学習プログラムとなります。

その社会で共通して求められる力は、①文章や情報を正確に読み解き対話する力。②科学的に思考・吟味する力。③価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究心。であります。

牽引する人材として、①技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材。②技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材。③様々な分野において A I やデータの力を最大限活用し展開できる人材等であります。

そこで今後の教育で重要となるのは理数と教科情報の連携と考えます。ここで教育会の使命ですが今後の社会でも引き続き重要となる理数に情報の概念を教育の中に取り込む提案をする次第です。

皆様のご議論をお待ちしています。

(私立文華女子中学・高等学校長)

新学習指導要領の課題について 東京都足立区立加賀中学校長 遠藤 映悟(57 理・化)

小学校は平成 31 年度から、中学校はその翌年から新学習指導要領への完全実施が予定されている。中学校では現在は移行期間で総則は実施済み。「特別の教科道徳」は来年度から実施となる。今回の学習指導要領の改訂は、AI 時代に向けて子どもたちに身につけさせる資質・能力を明確にしたものである。そして指導目標に照らし合わせ評価項目も全教科統一の 3 つになるなど、大きな変化がもたらされることになる。教育現場では現状の教育を行いながら、新学習指導要領実施に向けての準備を行うわけで、これはいつも学習指導要領の改訂で行ってはいいるが、相対評価から絶対評価に変わったとき以来の大きな変化である。また、小学校の学習指導要領が先に改訂されるということは、中学校において進捗してくる小学生に対し小学校で学んだ内容を十分に把握・確認して中学校の指導にあたる必要がある。これについては各地区で行われている小中連携事業をさらに深化させることで対応ができるのではと考える。元々今回の改訂は今までの学校教育を土台に子どもたちをめぐる家庭環境・情報環境の変化を踏まえ、小学校から中学校まで語彙の確実な習得、共通⇄相違、原因⇄結果、具体的⇄抽象的のような情報と情報の関係性を正しく理解するための学びを重視しており、教員には「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業改善（アクティブ・ラーニングの視点に基づく授業改善）を学習指導要領の総則に位置づけ求めている。これらの意義を十分に理解し、現場の教員に丁寧に伝え理解させ、実施に向けて組織的に対応できるように校内を運営していくことが我々管理職の責務である。

新学習指導要領の円滑な実施（準備等にかかりな時間を割くことが予想される）と同時に昨今取り沙汰されている学校における働き方改革を両立させることが現段階では一番の課題である。

理窓会 東京支部総会報告 東京支部副支部長 廣瀬 和昭(48 理・数)

平成 30 年度理窓会東京支部総会および報告会・講演会・懇親会が 5 月 27 日(日)、13:30 から東京理科大学神楽坂校舎 1 号館 17 階記念講堂および大会議室で開催された。

【総会】総会は植木キク子東京支部長の開会挨拶で始まった。支部長は理窓会活動が大学をはじめとする多くの関係者の協力のもと、発展的に運営されていることへの感謝を報告した。規程に従って植木支部長が議長に選任されて議案を審議した。審議事項の①29 年度活動報告、②29 年度収支決算報告、③監査報告、④30 年度活動計画案、⑤30 年度予算案を出席者全員の原案賛成で承認された。

【報告会】

まず本山理事長より「大学の現状」について昨年度の入試結果から将来構想などが報告された。現在すでに定員割れを起こしている大学が多数ある中、世界に誇れる優秀な大学として維持していくためには入学者確保と進路決定率が安定していることが重要である。進路決定率 96.6%であったことは評価できると話された。

今年度理窓会の新会長に就任した増渕忠行会長より「理窓会の活動報告」があった。会長から理窓会は大学の応援団としての立ち位置の説明があった。特に 10 月 28 日に神楽坂キャンパスで開催される HCD への結束をお願いした。最後に、維持会の森野義男会長より維持会の活動報告があった。

【講演会】（理窓教育会東京支部との共催）

講師 スタンフォード大学医学部教授 西野精治先生

演題 「スタンフォード式最高の睡眠 ～究極の疲労回復と最強の覚醒とは？睡眠の質を科学的に解明！～」

要旨 西野先生はスタンフォード大学睡眠センターで慢性の原発性過眠症であるナルコレプシー研究に携わってこられた第 1 人者である。2005 年よりスタンフォード睡眠・生体

リズム研究所の所長に就任。睡眠の謎を解き明かす研究の第一人者である。既日リズムなどの生物リズムや睡眠・覚醒調整に関わるメカニズムの研究成果を話された。

【懇親会】（理窓教育会東京支部との共催）

会場を1号館17階大会議室に移して懇親会が行われた。今年度から新学長に就任した松本洋一郎先生から祝辞をいただいた。松本学長は私学である東京理科大学の学長に就任したことの素晴らしさを話された。私立大学である本学が社会で果たす重要な役割について話された。また首都圏3支部の代表やこうよう会会長からの祝辞を賜り、会員相互の親睦をはかり充実した楽しい1日となった。

理窓会 支部長会報告

理窓会副会長 坂本 功(41 理・数)

理窓会支部長会が6月24日(日)神楽坂校舎1号館17階大会議室で行われました。

今年の支部長会は「支部活動と個人情報保護」～各支部における個人情報のあり方～というテーマで話し合いが行われました。

個人情報保護委員会委員長の佐竹信一先生から「各支部管理の支部員の個人情報を理窓会本部で一括管理し、その都度必要な時、支部員の個人情報を支部に提供する」との提案がなされました。

各支部から支部員の名簿等の個人情報の取り扱いの状況や、管理の仕方について様々な発言があり、一括管理の難しさが指摘されました。

話し合いのなかで「個人情報保護」の重要性の認識が深まり、今後の取り組みの必要性が確認されました。

理窓会 代議員総会報告

理窓会代議員 小久保正己(44 理・数)

梅雨空の天気の中、6月24日(日)午後1時より神楽坂キャンパス1号館記念講堂で、平成30年度理窓会代議員総会が開会された。

来賓を代表して本山和夫学校法人東京理科大学理事長から「大学の現状。『TUS VISION 150 東京理科大から TUS へ』の土台づくりについて。①国際競争力：留学生の受け入れと送り出し、教員の海外派遣、外国人教員。②創造的研究推進：国際共著論文数。工学系の博士を増やす。論文の生産性ランキング。③キャンパスの再構築：学部再編、キャンパスライフ、葛飾と野田、長万部の活用。オープンカレッジ。10年間のスケジュールで。などを示され、『東京理科大学から TUS へ』を達成するために努力していきたい」との熱意あふれる挨拶があった。

続いて、増淵忠行会長より「新執行部は6人の副会長と16人の常務委員(女性2人含む)からなる。ルネサンスから8年。充実しているが予算面での悩みがある。誰のために、何のために、いつ、何を行うのか。

①HCDの大幅な見直し ②会誌の配信の見直し に取り組む。個人情報保護が大きな課題で、午前の支部長会で話し合ってもらった。会長として、大学の方針にベクトルを合わせ、政治団体にならないように、「卒業生であることに誇りを持ち、明るく元気な校友会(理窓会)づくりに取り組んでいこう」と力強い所信表明があった。

その後、総会次第に則って議事に入った。活発な審議がなされた後、それぞれの議案が満場一致で承認された。議事に引き続き、報告事項についての説明があった。

(1) 第13回ホームカミングデー

自ら参加する HCD in 神楽坂

10月28日(日)神楽坂キャンパスで開催

(2) 第10回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト (高等学校)

(3) 維持拡充資金(第二期)」について

以上、平成30年度代議員総会が滞りなく執り行われ、実りある総会になった。

「坊っちゃん科学賞研究論文 コンテスト」について 事務局長 長谷川純一(48 理・物)

本学建学の理念「理学の普及」の趣旨のもと、全国高等学校高校生による研究論文コンテストが開催されます。第 10 回を重ねますが、毎年、応募数が増加し、「坊っちゃん科学賞」が広く、高等学校理数教育の研究発表の機会となっていることを実感します。

本年度は、60 校から 160 を超える論文が応募されました。本学教授、中・高等学校教育関係者による分野別審査会、総合審査会を経て、優秀賞、優良入賞、入賞、佳作、参加賞に選定され、10 月 28 日(日)9 時 40 分から神楽坂キャンパス 211 教室において、優秀賞 5 校が研究成果を発表し、最優秀賞校が決定されます。

これまでも遠くは北海道、沖縄県をはじめ全国の高校生が、綿密な観察・実験に基づく真摯な研究成果を発表してくれました。会場には、発表を聞きに論文応募校も参加しています。真理を追究してきた者だからこそ理解できる研究の苦労や努力は、発表後の質疑応答に反映して、さながら科学者の学会のようです。

応募論文は、参加賞を除き、全ての論文が「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト作品集」に収録されます。全国高校生の真理を追究する資質の高まりを読み取ることができます。ぜひご一読下さい。

(関連ニュース)

ホームカミングデーで「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」と並んで開催していた「第 11 回数学・授業の達人大賞授賞式・模擬授業」は、今年はホームカミングデーとは別の日に行われます。

○応募締め切り

平成 30 年 11 月 8 日(木)

○表彰式

日程：平成 30 年 12 月 9 日(日) 予定

場所：東京理科大学神楽坂キャンパス
数学教員の授業力向上の絶好の機会です。
詳しくは東京理科大学数学教育研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.rs.tus.ac.jp/rime>

新任教員の抱負

東京農業大学第二高等学校

教諭 工藤ひかる(平 30 理・数)

いつでも、全力疾走

今年度から教員生活を始め、3 ヶ月が過ぎようとしています。私は群馬県にある東京農業大学第二高等学校で働いています。大学時代、毎日のように教職の先生のもとへ行き、模擬授業を見て頂いていました。先生方の熱いご指導とともに励ましあいながら頑張った仲間たちのおかげで念願の高校の教員になることができました。

現在、高校 1 年生の担任をしています。右も左も分からない自分に何ができるだろうと考えた結果「生徒のことを第一に考え、一緒に歩もう」と思いました。一緒に掃除をし、毎日学習手帳でやり取りをしています。少しずつ、生徒と信頼関係が築け、クラス全員が同じ方向を向かうようになりました。一日一日が色濃く、元気いっぱいに過ごしている生徒たちをみていると幸せで教員になってよかったと感じています。

教員生活はまだまだ始まったばかりですが、支えて下さっている周りの先生方や、生徒たちへ感謝の気持ちを忘れず、生徒たちが自分の夢へと大きく羽ばたけるようにこれからも一緒に走り続けます。

東京都立田無高等学校

教諭 横山 雅彦(平 30 理・数)

私は平成 30 年 3 月に卒業し、4 月から東京都立田無高等学校で勤務しています。3 月に大学を卒業したとき、今までと全く違う生活

を送ることに不安を感じていましたが、今では同僚の先生方や生徒とともに楽しく教員生活を送っています。田無高等学校は「叡智・敬愛・剛健・自律」という校訓をもとに、互いに人格を尊重し、豊かな情操を養う教育に力を入れており、合唱コンクールや体育大会、文化祭などの学校行事や、部活動が盛んに行われています。

教員としての仕事は全てがはじめてで、分からないことだらけです。数学の授業では、同じ内容の授業をしても、クラスによって返ってくる生徒の反応の違いに苦勞をしたり、生徒に上手く伝えられなかったりします。サッカー部では、50 人を超える部員に対して、試合に出る部員と出ない部員に対してそれぞれ適切な指示や練習を与えることや、部活動を行うための事務の仕事に苦勞しています。生徒指導部では、学校行事の企画や運営、生徒会の活動などに毎日追われています。その中でも、生徒に必要とされたり、忙しく大変な仕事をやりきった後に感じられる達成感を得られたりすることに教員としてのやりがいを感じます。

私が教員になって大切にしていることは、「若いからできることは若いうちに全力でやる」ということです。新任教諭であるからこそ、様々な授業のやり方、サッカーの指導などに挑戦し失敗できるのだと思います。また、分からないことや不安に感じていることに対してアドバイスや指導をしていただけるのも今のうちだと考えています。色々なことを吸収し、自分らしい指導を確立していきたいと思います。しかし、新任教諭だとしても、生徒にとっては先生です。1 年目ということを使い訳にはせず、生徒に対して毅然とした態度で、全力で指導していくことを心掛けたいです。

まだまだ教員としては未熟ではありますが、常に謙虚に学び続ける姿勢をもって生徒や他の先生方から信頼されるように成長していきたいです。

茨城県立明野高等学校

教諭 斎藤 謙太郎 (平 30 理工・数)

私は平成 30 年 3 月に理工学部数学科を卒業し、4 月から茨城県立明野高等学校に勤務しています。明野高校は 1 年生 2 クラス、2、3 年生 3 クラスの計 222 名の学校です。就職クラスと進学クラスに分かれており、目的に応じて学習しやすい環境が整っています。

私は 3 学年の副担任で、バスケットボール部とバドミントン部の副顧問を任されました。どちらも経験があるため、生徒と一緒に練習しています。部員はバスケット部 6 名、バドミントン部 2 名と少ないですが、生徒は一生懸命練習に取り組んでいます。毎日練習をしており、体力的に大変な点もありますが、生徒が一生懸命頑張っている姿を見て、私自身も元気になります。距離が近くなることもあります。充実した時間を過ごせています。

授業は、2 年生の数学 I A と実践数学(数検 3 級の取得を目指す、本校独自の科目)、3 年生の就職試験に出る数学対策を担当しています。本校の生徒は勉強に対する苦手意識が強く、授業中に集中力を欠いてしまう場面も少なくありません。ただ、授業をしていく中で、解ける問題の時にはどの生徒も一生懸命取り組んでいることに気づくことができました。

「勉強をやりたくないからやらないのではなく、問題が解けなくてつまらない、内容を理解することができていないからあきってしまうのだ」と理解してからは、教科書通りの説明ではなく、簡単な問題を集めたプリントの作成や、机間指導をできる限りすること、勉強が得意な生徒が中心となって教え合う場面などを取り入れるといった工夫をするようになりました。授業に関してはまだまだ未熟な点もありますが、先輩教員の方と連携しつつ、今後も自らの授業力を高めていきます。

大変なことやつらいこともあります。生徒の元気な姿や楽しそうな姿に元気づけられます。生徒のために頑張る毎日はとても楽しく、充実しています。今後も一人前の教師になるために、一生懸命努力し続けていきます。

管理職への昇格

平成 30 年度の人事異動で、多くの同窓生が管理職に昇任されました。心からお祝い申し上げます。

【秋田県】

伊東光喜 60 理応化 県立羽後高等学校頭

【群馬県】

関根正弘 61 理応数 県立赤城特別支援学校校長

【埼玉県】

今西善徳 58 理工数 県立和光高等学校校長

金室紀夫 平 2 専物 県立深谷はばたき特別支援学校校長

【千葉県】

佐藤 仁 59 理化 県立若松高等学校校長

太田恭正 59 理数 県立柏高等学校校長

宮部智哉 62 理数 県立佐原高等学校頭

伊藤幸雄 63 理応数 県立鎌ヶ谷高等学校頭

中村孝幸平 2 理化 千葉市立千葉高等学校頭

【神奈川県】

重田 宏 58 理数 県立鎌倉高等学校校長

樋口一孝 62 理工応生 県立厚木高等学校副

會田 勉平 1 理数 県立追浜高等学校副

高橋秀樹 61 理工数 県立大井高等学校副

林 信仁平 4 理数 県立湘南高等学校頭

小沢優由平 3 理化 県立高浜高等学校頭

西村正広 62 理数 県立厚木西高等学校頭

一柳浩一 63 理応数 県立横須賀高等学校頭

【静岡県】

吉澤敏 58 理応数 県立富士宮北高等学校副

梶山佳明平 2 理工数 県立静岡西高等学校副

鈴木学平 1 理工数 県立浜松湖東高等学校副

磯部正之平 3 理化 県立浜松工業高等学校頭

田中文博 63 理化 富士市立吉原東中学校校長

【福井県】

油谷 泉 59 理物 県立勝山高等学校校長

【東京都】(管理職校長選考合格者)

福原利信 平 2 理工・数 都立立川高等学校副

以上、名簿到着の都道府県のみ掲載です。

同窓の活躍

「初任者からの情熱を

本物の教育改革へ」

東京都立町田高等学校

統括校長 牛来峯聡 (57理・数専)

私は、大学卒業後、初任者教諭として伊豆大島にあります大島高校に赴任いたしました。当初は 3、4 年間の島赴任を想定しておりましたが、大島の素晴らしい環境、そして卒業生を出していく中で、島しょ教育の重要性を痛感し、初任者として 10 年近く大島高校にお世話になりました。この間、昭和 60 年 11 月に伊豆大島の大噴火により一カ月間避難生活をしながら、教育活動の再開に向けて取組んでおりました。その後、都教育委員会から大島高校に総合学科高校の構想が示され、その構想の実現に向けて、教育課程・系列の研究に没頭し、異動をせずに大島高校への総合学科高校の実現に向けて三年間取組んでおりました。しかし、平成 6 年度に大島高校への総合学科高校構想がなくなり、私の役割が終わったと感じたことから、後一年だけ学校に残留し、異動することとしました。

ところが、異動に当たっては、総合学科高校を島しょ地区ではなく、都内に新設高校として設置するため、総合学科高校の開設準備要員として異動の要請があり、都立晴海総合学科高校を設立することになりました。ここでは、管理職を含めた 7 名の同僚とともに、都内初の総合学科高校の本格的な設立に向けて、情熱的な議論をしながら、最高の学校を創ろうという暗黙の結束のもと、沢山のことを教わりながら夢中で取組んでいたことが思い出されます。平成 8 年度に都立晴海総合学科高校が設立し、今日に至っています。私は、残念ながら 3 年間しか晴海総合高校にいられませんでした。平成 11 年度から都教育委員会の指導主事、統括指導主事、主任指導主事、担当課長として、13 年間教育行政でお世話になり、平成 24 年度に都立大崎高校の統括校長、平成 27 年度に都立町田高等学校の統括校

長として現在に至ります。

島しょ赴任時や新設校設立に向けて培った教育への情熱は途切れることなく、教育行政でも継続的に活かし、多くの仕事を楽しくさせていただきました。校長職になってからも教育に対する情熱は大いに盛況で、大崎高校の改革、町田高校の改革と多くの教職員に支えられながら邁進しているところです。

ここでは、現任校の取組を簡単に紹介します。本校は、東京都教育委員会から進学指導特別推進校として指定を受けている全定併設の学校です。現在は、カリキュラム・マネジメント推進校、アクティブ・ラーニング推進校などの七つの指定校、三つの事業を推進しています。これらの指定校等の事業は、平成 27 年度から本校が教育改革に取り組んできた教育活動を充実させるために大変役立っています。ここでは、カリキュラム・マネジメント推進による本校のグランドデザインについて紹介します。

カリキュラム・マネジメントの三つの側面を踏まえて学校のグランドデザイン（「町高グランドデザイン」）を作成し、将来の生徒像を「これからの社会を逞しく生きる将来のリーダーとしての人間力の向上」とした。そのためには、三つの目標を次のように掲げた。①伝統を継承し、高みを目指す次代を切り拓く町高生の育成。②大学生・社会人となっても伸びる人づくり、社会のリーダーとして活躍・貢献できる人づくり。③生徒の能力を引き出し、難関国立大学・国公立大学・難関私立大学等への進路実現をより確かなものにするである。そのための方向性として、方向性 1（「自主自律」「文武両道」「伝統と創造」の追求と実践）、方向性 2（基礎力、思考力、実践力などの世界に通用する 21 世紀型能力の育成）、方向性 3（町高進路指導システムの発展・成長へ向けた確立とチーム力による確かな進路指導の実践）を定めました。

そのための特色ある教育活動として、①調査探究活動（調査探究活動で発表会・論文作成等）②国際交流事業（海外語学研修、留学生の受入れ等）③理数教育の充実（理数講演・

講習、サイエンスツアー、課題研究等、プログラミング等）④言語活動の推進（課題図書、感想文、読書テスト、感性や表現力等の育成）⑤教養教育の推進（学ぶ意義、近現代史、地球規模の課題等のテーマでグループ協議、論述）⑥論述で表現力の育成（論理的な論文の作成、論述訓練、英語で表現、思考力の育成）を実施しております。

こうした教育改革により、本校の生徒の能力を引き出し、高め、これからの社会を逞しく生きる将来のリーダーとしての人間力の向上を図ることがねらいです。

最後に、長い間、教育に専念できたことを誇りに思います。これも皆様によるご支援のお陰であります。今年度で退職を迎えますが、母校大学で培った教育の理想の追求、学校や教育行政で培った教育の現実への対応と情熱の追求、管理職として培った未来を見つめた実践力を発揮できる教員の育成等に機会があれば今後とも取組んでいきたいと思ひます。

広島支部報告

支部長（47 理数）河野 正憲

I 教育会支部総会は、平成 29 年 9 月 24 日にセンチュリー 21 広島で理窓会支部総会に先立って会員 9 名が出席して開催しました。

議事内容は次のとおりです。

- 1 平成 28 年度の行事報告および決算報告
- 2 平成 29 年度の行事予定および予算案
- 3 役員改選
- 4 意見交換等

総会出席者を多くする取り組み

II 恒例の理窓会支部会員による講演会は「身近な算数・数学～知的好奇心を育てる～」の演題で近畿大学附属高等学校・中学校東広島校 校長 前眞一郎氏(S52 理・数学)校長講話により生徒の好奇心を育てる実例を紹介いただきました。

III 理窓会支部総会は会員 33 名出席、本部から吉本成香常務理事、坂本功理窓会副会長にお越しいただき開催しました。

吉本成香常務理事から「理科大の現状、5 万 3 千人を超える志願者数の状況、大学院への進学状況及び就職状況、研究力・教育力の高い大学という評価を得ている現状、さらに 2031 年(理科大創立 150 周年)の理科大に向けて改革をしていく。「真の実力主義」を教育のモットーにして実践していく」等々のお話を聞き参加者一同、母校のこれからの発展を確信いたしました。

Ⅳ 懇親会では、大学本部からの来賓の方々とうよう会から 3 名の参加者および同窓生が交流し親交を深めました。懇親会後の二次会には多数参加し、楽しい時間を過ごしました。

これからも東京理科大学で学んだ私たち同窓生は、お互いに縁を大切にして、教育会および理窓会支部会員の輪を広げていきたいと思っています。

東京理科大学の新教職課程

田中 均(51 理・数)

平成 27 年 12 月 21 日付、中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について ～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」を受け、平成 28 年 11 月には教育職員免許法の一部改正、平成 29 年 10 月には同施行規則が改正された。これに伴い、文部科学省による教職課程コアカリキュラムの策定や教職課程認定基準等の改正等が行われ、平成 31 年度から教職新課程がスタートすることになった。

東京理科大学でも、教職教育センター内の会議やワーキンググループでの議論が盛んに行われ、こうした議論を経て文部科学省に全教職科目のモデルシラバスや新設科目の申請、これを担う教員の業績書の提出などを行ってきた。こうした動きと並行して、教職教育センターによる「東京理科大学教職教育研究」も 2 年間で創刊号から第 3 号まで刊行された。文部科学省による東京理科大学教職課程の再課程認定は平成 31 年 2 月に最終的に

決定される。こうして、平成 31 年度から新課程が動き出す。

新課程においては、「教職概論」「生徒指導論」「数学科指導法」「理科指導法」など、従来の科目に加え、「特別支援教育論」「総合的な学習の時間の指導法」「教育課程編成論」などが新設される。実習も従来からある介護福祉施設や特別支援学校で合計 7 日間実施する必修の「介護等体験」、3 週間の「教育実習」のほか、選択科目で「学校インターンシップ」が新設される。大学の教職課程も充実が図られている。

このほか、教職教育センターでは、理窓教育会のご助力も得て、教員採用試験対策講座として、「事前対策講座」「合宿コース」「私学対策講座」「直前対策講座」「二次試験対策講座」などを実施する。年度末に実施される「プレ教員講座」や「激励会」なども理窓教育会と連携した行事となっている。今後は、卒業後の若手教員同士の連携をどのようにして図るかなど、教員養成を行っている教職課程指導室、及び理窓教育会との連携が益々重要になっている。(教職課程指導室)

「同窓若手教員懇談会」の開催

松原 秀成(45 理・物)

「同窓若手教員懇談会」開催のお知らせ

盛夏が続いております。各学校とも夏休みに入り皆様には、部活動や研修などご多忙の中ですが、リフレッシュもされておられることと存じます。さて、皆様には母校理科大を卒業され、各学校においてご活躍のことと拝察いたします。この度、理科大で教職課程を専攻し、現在教職に就いておられる若手教員の皆様を中心とした同窓教員ネットワークを図っていききたいと、神楽坂・野田校舎の指導室の先生方で考え、下記の日程で設立の懇談会を開催いたします。ぜひ、万障繰り上げていただき、ご出席のほどよろしくお願いいたします。なお、出欠席並びに、勤務校、連絡先などを、返信用のハガキに必ずご記入の上、お知らせ下さるようお願いいたします。

記

日時 平成 30 年 10 月 28 日 (日) 14 時より
場所 神楽坂校舎 2 号館 242 教室

なお、当日は神楽坂校舎では、理科大ホームカミングデーが実施されています。お楽しみいただければ幸いです。

参加費 1,000 円

連絡先 教職課程指導室代表 松原秀成

携帯番号 090-2314-7317

e-mail hidinari-nanalib@flute.ocn.ne.jp

以上のような内容で、住所の判明している若手教員に往復ハガキで連絡をいたしました。連絡のなかった若手教員の皆様で関心のある方は遠慮なくメール等でご連絡ください。今回の企画に限らず、今後とも同窓教員ネットワークの充実を図っていきたいと考えます。皆様のご連絡をお待ちしております。

事務局より

1 理窓教育会事務局について

理窓教育会事務局は PORTA 神楽坂 7 階の理窓会事務室内に置かれています。

ただし、理窓教育会事務局専属の事務員がいるわけではありませんので、ご連絡は郵送でお願いいたします。

なお、お急ぎの場合には、2 の支部長等の連絡窓口にご連絡ください。

書面での連絡先

〒162-0825 新宿区神楽坂 2-6-1
PORTA 神楽坂 7F 理窓会事務所内
東京理科大学理窓教育会 宛

2 支部長等の連絡窓口

教職課程指導室 高橋 伯也 (編集担当)

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

メール takahaku@rs.tus.ac.jp

3 理窓教育会ホームページ

「理窓教育会」と入力すると、開きます。
「東京理科大学理窓会」のホームページの中に

「理窓教育会」のものがあります。

ホームページアドレスは次の通りです。

<http://risoukai.com/educ/>



(9/8 坊っちゃん科学賞コンテスト審査風景)

(編集後記) 第 52 号をお届けいたします。

お忙しい中、紙面総会等でご協力いただいた支部長さん、原稿や記事をお寄せいただいた皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。有難うございました。

本号では、お忙しい中、理窓会の増淵忠行会長から巻頭言をいただきました。有難うございました。

本号は紙面総会の特集です。また理窓会関連の記事、そして坊っちゃん科学賞論文コンテストも掲載しております。さらにお忙しい中、3 名の方から、新任教員の抱負をお寄せいただきました。有難うございました。

松原先生の記事にあるように、**同窓教員ネットワーク**を構築して、若手教員の活躍等を応援していきたいと考えます。先輩の先生方におかれましても、お近くに若手教員がおられましたら、ぜひお声をかけてください。

「同窓若手教員懇談会」と同じように、**ホームカミングデーの同窓出合いの広場に理窓教育会のコーナーを設置します**。会員の皆様のご来場をお待ちしております。

会報もこれからますます充実できるよう、フレッシュな気持ちで全国の皆様と取り組んでいきたいと考えます。

4 会費納入状況

下記の表の通りです。平成 30 年度は 7 月 26 日現在の納入数です。ゆうちょ銀行などの「サービス料金・手数料の改定」により、払込み料金が窓口料金は 130 円(5 万円未満)となりましたが、ATM 料金はこれまで通り 80 円(5 万円未満)です。**今後の会費払込みにつきましては、できるだけ ATM で行ってくださるようお願いいたします。**

今後とも会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、郵便払込取扱票の口座番号などは、次の通りです。

(口座番号) 00160-9-715349 (加入者名) 東京理科大学理窓教育会

(会計統括理事 (46 理・物) 齋藤 常男)

理窓教育会 支部別会費納入数									
県名	27年度	28年度	29年度	30年度	県名	27年度	28年度	29年度	30年度
北海道			3		滋賀	1		1	
青森	1	2	1	2	京都				
岩手	3	4	4	3	大阪				
宮城	3	4	3	2	兵庫				1
秋田	20	22	27	19	奈良				1
山形	1	1	1	1	和歌山				
福島		1	1	1	鳥取	5	1		1
茨城	8	7	4	10	島根				
栃木	1	1	2	1	岡山	12	10	1	3
群馬	1	5	2	2	広島	26	31	26	7
埼玉	34	27	32	9	山口	2	2	2	2
千葉	32	33	31	33	徳島				
東京	68	62	56	54	香川				
神奈川	20	13	10	9	愛媛				
山梨	2	1	2	1	高知	1	1	1	1
長野			1		福岡				
静岡	15	11	13	12	佐賀	2		2	1
愛知	2	3	2	1	長崎	1			
岐阜	1	1	1	1	熊本				
三重	1	1	1	1	大分				
新潟	2	3	1	2	宮崎	1		2	
富山	2	2	2	1	鹿児島		1	1	1
石川					沖縄				
福井				5	小計	51	46	36	18
小計	217	204	200	170	合計	268	250	236	188

平成30年7月26日現在です。